

「くすのきクラブ」との主な協働事業(3)

合唱祭(くすのきクラブ主催) ※毎年3月に開催

- 合唱をとおして、熟年者の健康づくりと仲間づくり促進するために実施。生演奏に合わせて元気に歌う。
- 参加者数:約3,500名



リズム運動 (1980年～)

- 熟年者の健康増進や仲間づくりのために、社交ダンス(マンボ、ルンバ等)を熟年者向けに独自にアレンジした軽運動。江戸川区のみで実施。1980年に誕生し、30年以上にわたり熟年者に愛されている。2012年には「地域づくり総務大臣表彰」を受賞。
- 区役所との役割分担のもと、「くすのきクラブ」を中心に実施されている。毎年6月には約5千人が参加する大会も開催される。

- <参加団体数>
233団体 (2012年度)
- <参加者数>
10,295人 (2012年度)
- <実施会場数>
200会場 (2012年度)
- <年間実施回数>
8,000回超 (2012年度)



リズム運動の実施体制(役割分担)

- リズム運動指導員(有償ボランティア:66名)の協力のもと、「くすのきクラブ」と区役所との間で役割分担による協働。

<区役所の役割>

- リズム運動指導員の採用及び研修
- リズム運動指導員の派遣
- リズム運動大会や初心者教室の開催
※初心者教室は毎年約800名が受講。



<「くすのきクラブ」の役割>

- リズム運動への参加者の募集
- 会場の確保及び当日の運営(準備及び片付け)
- 6つの地区別の交流会の開催 ※参加者数は約3,500人。

ソフトリズム (2010年～)

- 介護施設等の入所者や身体が不自由となり外出が難しいなどの理由で地域で行われているリズム運動に参加できない熟年者向けに、江戸川区が独自に開発した軽運動。
- 通常のリズム運動とは異なり、座ったままの状態でもできる。
- 区内の地域包括支援センターや特別養護老人ホームなどの高齢者施設にDVDを無料で配布。施設の入所者にも人気。



くすのきカルチャー教室 (1977年～)

- 熟年者の生きがいや仲間づくりのきっかけとなる趣味や学習の機会を提供するために、1977年に江戸川区が開設した教室。現在は、社会福祉協議会に事業委託を実施。
- 現在、区内6箇所に設置された「くすのきカルチャーセンター」で様々な講座が開催されている。

- <受講者数> (2013年4月)
正規教室: 84教室 2,015人
自主教室: 321教室 6,223人

- <受講料>
正規教室と自主教室(1年目)は無料

- <開講科目>
書道、手芸、園芸、水彩画、詩吟、民謡、英会話など



江戸川区熟年人材センター (1975年～)

- 就業をとおした熟年者の生きがいづくりのため、その知識や経験を活かして地域で就業することを支援する施設(シルバー人材センター)。1975年に江戸川区が日本で初めて設置し、1985年に法人化した。

- <組織>
会長1名、副会長1名、常務理事1名、理事14名、監事2名、正規職員10名、準職員13名、就業機会開拓専門員3名

- <会員> ※全国3位(2012年)
区内在住の60歳以上の熟年者
4,052人(平均年齢:73.4歳)
年会費:600円

- <就業率>
56.1%



江戸川区熟年人材センター

<主な事業内容>

【一般事業】事務作業、駐輪場整理、家事手伝い、清掃作業、植木の剪定、スポーツ施設の管理など

【独自事業】

- ・再生自転車の販売：放置された自転車を回収し、部品交換を行うなどして再生し、廉価で販売する事業。
- ・シルバーお助け隊：熟年者などを対象に、自己負担300円(区負担500円)で日常生活でのちょっとした困りごとをお手伝いするサービス。派遣実績：457件／派遣隊員：延504名(2012年度)

<年間契約(受注)金額>

約10億7千万円(2012年度)



<再生自転車>
販売：1,167台
売上：5,848,200円
(2012年度)

熟年者を中心に区民が主体となっている活動の事例

(1) 江戸川総合人生大学

【キーワード：学習&社会参加】

(2) アダプト活動プログラム

【キーワード：社会参加】



江戸川総合人生大学 (2004年～)

- これまでの人生経験や知識を活用して社会貢献したいと考えている熟年者などを応援する生涯学習機関として、江戸川区が2004年に開設した市民大学。
- ボランティア活動の基本的な知識や技術を学ぶだけでなく、地域の課題を自ら発見し、その課題を解決するための方法を考える。
- 学習成果をボランティア活動として還元することが特徴であり、多くの卒業生が非営利団体で活躍している。

【学長】北野 大(淑徳大学教授)

【講師陣】約100名(大学教授、NPOスタッフなど)

【事務局スタッフ】7名(区職員2名、有給スタッフ5名)



江戸川総合人生大学



【学科構成】2学部4学科

【学習テーマ】まちづくり、国際交流、子育て支援、介護・福祉

【定員】各学科25名程度

【修学期間】2年間

【年間授業回数】各学科30回 延べ310回(選択授業含む)

【授業料等】入学金なし・授業料3万円(年間)

【キャンパス】専用講義室と活動室を有するほか、江戸川区全域をキャンパスと位置づけ、地域の協力を得た学習活動を展開。

【在校生数】148名(平均年齢：63.9歳)

【卒業生数】534名

【輩出ボランティア団体数】47団体 ※この他に個人ボランティアも多数。

アダプト活動プログラム (2004年～)

- 道路や公園、街路樹などの公共施設を自分たちの財産と考え、区民(地域の非営利団体)自らが清掃や手入れを行う活動。2004年から開始。
- 区は、バンダナやサインボードの提供、活動に必要な機材の貸出しなどの側面的支援を行う。

<登録者・団体数(2012年2月)>

8,501人／285団体(5ボランティア合計)

●公園ボランティア	3,737人／185団体
●緑のボランティア	1,315人／30団体
●水辺のボランティア	1,295人／29団体
●まちかどボランティア	1,246人／30団体
●えどがわ桜守	908人／11団体



地域が主体となっている活動の事例

すくすくスクール事業

【キーワード：社会参加&世代間交流】



すくすくスクール事業 (2003年～)

- 子どもの創造性・自主性・社会性などを養い、豊かな人格形成を育むために、2003年に江戸川区が開始した事業。国のモデル事業にもなった。
- 学校・家庭・地域が一体となって運営している事業。各校でサポートセンター(非営利組織)を立ち上げ、学校施設内における放課後の子どもたちの活動を支援。子どもたちの学びや遊びを手伝うために、多くの高齢者がボランティアとして参画している。

<実施校数>

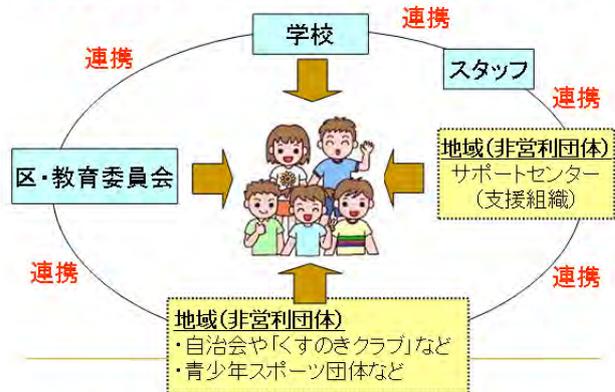
区内の全小学校(73校)
※全児童数の約70%が登録

<ボランティア協力者数(年間)>

延べ14, 292人(2012年度)



すくすくスクール事業 地域連携概念図



江戸川区の熟年者が元気な秘密(ヒミツ)の



キーワード

- (1) 地域との関わり、社会的役割の保持
- (2) 運動
- (3) 学習
- (4) 就労
- (5) ボランティア活動
- (6) 世代間交流



社会参加



資料中のデータ(数字)について

※資料の中で紹介されている各種のデータ(数字)は、ビデオの撮影時期や比較時期によって異なります。また、最新データとも異なります。ご注意ください。